

「森小屋づくり」ねらい別の進め方

ねらいA：協力性、コミュニケーション能力育成

	活 動 内 容	支 援
事前	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容の説明を聞く。 グループごとに割り箸でモデルを作り、森小屋の形や実際に作る際の手順について話し合う。 グループでヒモの結び方の練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> おおよその形、使う材料（木とコンパネ）の数と大きさについて情報を与え、具体的な形や作る手順についてはグループで考えさせる。（ロープワークについては写真資料を与える。） 安全面での指導（刃物の使い方、重い物を扱う際の作業の仕方等）を行う。 この場では話し合いや練習の進め方について観察するだけで指導は行わない。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 材料を組み立て、森小屋を作る。 時間がきた段階で作業を打ちきる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面での指導が必要な場合は指導を行うが、作り方や手順については口を出さない。 十分にコミュニケーションをとらずに作業を進めるグループに対して指導は行わず、進め方を観察する。 活動中は子ども同士の関わり方を注意して観察する。 行き詰まっているグループには相談にのるとともに、他のグループの作り方を参考にしても良いことを伝える。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 個々に、作業の中で気づいたことや感じたことをワークシートに書く。 グループで気づいたことや感じたことを話し合う。 どうすれば作業がうまくいったのか、今後のグループ活動ではどうすべきか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの約束（互いの発言を否定せず尊重し合うこと）について説明する。 気づきを分かち合う場では、指導者が話し合いを促進する立場で入るようにする。（各グループに入れなかった場合は、いくつかのグループをまとめて行う。） 結果やできごとにのみ目を向けず、その時にグループ内や自分の中でどのようなことが起こっていたのかに着目できるように言葉掛けを行う。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 作業が終わらなかったグループのみ作業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な場合は指導者も手伝って完成させる。

【他のプログラムとの関連】

このプログラムの後に、再度グループで協力する活動を行い、このプログラムで学んだことを行かせるようにすると良い。

「森小屋づくり」ねらい別の進め方

ねらいB：豊かな自然を肌で感じる

	活 動 内 容	支 援
事前	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容の説明を聞く。 グループごとに作りたい秘密基地（森小屋）の形について話し合い、イメージ図を描く。 秘密基地でやってみたいことについても話し合う。 伐採のマナーについて学級全体で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 秘密基地を作ろうと投げ掛け、森小屋も含めた秘密基地の構想を自由に立てさせる。 荒縄以外は森にあるものを使って作ることを説明する。 伐採のマナー（1本の木からたくさんの枝を切らない。必要な分だけ切る等）については、気づかない点は指導する。 安全面（刃物の使い方）について指導する。 当日の活動時間が少ない場合はヒモの結び方を簡単に練習する。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 現場を見て、森小屋のおおよその大きさや材料となる枝の長さ等について話し合う。 材料を集めてくる（枝を切る）。 材料を組み立てて森小屋を作る（必要に応じて材料をとってくる）。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動範囲や活動時間について説明する。 かぶれる木について指導する。 安全面での指導が必要な場合は指導を行うが、作り方や手順については口を出さない。（行き詰まっているグループには相談にのる。） 活動中は子ども同士の関わり方を観察するとともに、植物の多様性（匂い、手触り、木の堅さ、葉の付き方等）に対する気づきを子どものつぶやきなどから見取る。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 個々に、作業や遊びの中で気づいたことや感じたことをワークシートに書く。 グループで気づいたことや感じたことを話し合う。 今度森に入ったらやってみたいこと、学校周辺の自然を使ってやってみたい遊び等について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの約束（互いの発言を否定せず尊重し合うこと）について説明する。 気づきを分かち合う場では、指導者が話し合いを促進する立場で入るようにする。（各グループに入れない場合は、いくつかのグループをまとめて行う。） 結果やできごとにのみ目を向けず、その時にどんなことを感じたのか、どんなことが分かったのかといったことについて考えるように言葉掛けを行う。

【他のプログラムとの関連】

このプログラムの後に、自然のものを材料とした遊具（ブランコやパチンコ等）づくりを行ったり、木の枝から箸やスプーンを作って秘密基地で食事（弁当）を行ったりしても良い。